

令和 2 年度 東京都立荒川工業高等学校 定時制課程 学校経営計画

東京都立荒川工業高等学校長  
前 畑 光 男

## 1 目指す学校像

「ものづくりは人づくりから」を理念に、どのような時代を迎えようとも、人として備えるべき規範意識を身に付けた魅力あふれる人材を育成し、人間力の向上を図る。

### (1) ミッション

どのような理由であろうとも、学び直す意欲をもった生徒に全力で寄り添うとともに、電気・電子関係の技術者として、産業社会を支える人材を育成する。

また、ものづくりに関わる学力を身に付けさせ、免許・資格の取得や検定の合格を目指す。

### (2) ビジョン

知・徳・体をバランスよく育ませるとともに、教職員がチーム一丸となって支援し、新しい時代を逞しく生きていく力を育成する学校を目指す。

### (3) コミュニケーション

信頼で結ばれた良好な人間関係の構築を図るため、挨拶を励行し、すべての教育活動において協働・交流を図り、主体的・対話的で深い学びとなる学校を実現する。

## 2 中期的目標と方策

### (1) 学習指導

基礎・基本を大切にした授業に心がけ、少人数授業、補講・補習を充実させることで、生徒にとって「分かる授業」を確実に実践する。

### (2) 進路指導

ハローワークとの連携による就労支援を生徒の発達段階に合わせて適切に実施するため、入学時から計画的なキャリア教育を実践する。

### (3) 生活指導

挨拶を励行し、礼儀・規律を重んじた規範意識の向上を図るため、授業規律を確立させる。

### (4) 特別活動・部活動

部活動への加入を勧め、良好な人間関係を構築させるとともに、人間力を身に付ける。

## 3 今年度の取組目標と方策

### (1) 教育活動の目標と方策

ア 学習指導の充実・工夫 (学校評価アンケート生徒の授業満足度 80%以上)

(ア) アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、主体的・対話的に深い学習に取り組む態度を養う。

- (イ) 「分かる授業」の実現に向け、放課後や長期休業期間等における補講・補習を計画的に実施し、基礎・基本の学力を確実に定着させる。
- (ウ) 多様な学習歴による学習面の「つまずき」を早期に発見し、支援するため、生徒の卒業中学校との連携や入学者選抜検査結果を活用する。
- (エ) 教科「人間と社会」では、仲間や地域との交流・協働を通して、より良い生き方を主体的に選択し、行動する力を育成するとともに、ボランティア活動等の体験から、自発的な貢献力を養う。
- (オ) ICT機器を積極的に活用し、生徒の興味・関心を高める。
- (カ) 読書週間を設定し、本に親しむ態度や本を読む習慣を身に付けさせる。
- (キ) 外部機関と連携し、主権者教育を充実させる。

#### **イ 進路指導の充実・工夫**（学校評価アンケート生徒の進路指導満足度80%以上）

- (ア) 社会人として自立に必要な力と自分らしい生き方を実現させるため、組織的・計画的なキャリア教育を実施する。
- (イ) ハローワーク等と連携し、社会人として求められるマナーやコミュニケーション能力を高める。
- (ウ) 将来の職業について考える機会としたインターンシップ及び企業見学を適宜実施する。
- (エ) 免許・資格の取得、各種検定の合格を目指す指導の充実を図る。

#### **ウ 生活指導の充実・工夫**（学校評価アンケート生徒の進路指導満足度80%以上）

- (ア) 校内規程に基づいて適切に指導し、指導後の効果についても検証を重ね、いじめ、暴力、自殺等の未然防止、早期発見、早期対応に努め、中途退学者を未然に防止する。
- (イ) 心の教育やSNSの適正な利用に向けた取組等を推進し、正しい倫理観に基づく行動を身に付けさせる。
- (ウ) 遅刻指導は、家庭との連携を基盤に、個々の生徒の現状に合わせて工夫・改善する。
- (エ) 特別な支援を必要とする生徒へは、スクールカウンセラーとの連携を強化し、サポート体制の充実を図る。また、生徒・保護者との三者面談を計画的に実施する。
- (オ) 良好な人間関係構築の支援として、グループエンカウンターを適切に実施する。
- (カ) 学習課題や生活課題の現状を把握し、発達障がい傾向にある生徒へは、児童相談所等の外部との連携を密にし、生徒が安全に学校生活を送るための支援を行う。

#### **エ 特別活動・部活動の充実・工夫**

- (ア) 特別活動や部活動への積極的な参加を勧め、帰属意識及び集団の一員としての自覚を高める。（部活動加入率80%以上）
- (イ) 教科「人間と社会」において、主体的なボランティア活動への参加意識を醸成し、自己肯定感を高める教育を推進する。

#### **オ 健康づくりの啓発**

- (ア) 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、以下について適切に実施する。
  - a 校内清掃（清掃チェック表の管理と保管）
  - b 生徒及び教員健康観察（健康チェック表の管理と保管）
  - c 校内における感染者及び擬陽性者を想定した校内研修（ガイドラインの理解促進）
  - d 学校ホームページや印刷物での保護者向け協力依頼と注意喚起
  - e 中止または延期となった健康診断の計画的実施

- (イ) 学校保健計画に基づき、健康づくりに関する取組を組織的・計画的に推進する。
- (ウ) 生徒の健康把握に努め、個々の生徒に応じて適切に指導する。
- (エ) 食物アレルギーについての生徒情報の共有と緊急時体制の整備
- (オ) 体育科と連携し、体力測定の結果等を活用した生徒への健康指導及び支援
- (カ) 保護者と連携し、生徒の健全育成を図る。
- (キ) スクールカウンセラーを中心とした教育相談体制の確立
- (ク) 保護者との連携を十分に図り、健康の保持増進を目的とした食育を推進し、給食の喫食率を向上させる。

#### カ 生徒募集活動・学校広報活動の充実・工夫

- (ア) 学科の特色を示した学校案内を作成し、受検生徒とその保護者へ配布する。
- (イ) 学校行事や部活動の様子を学校ホームページで定期的に情報発信する。
- (ウ) 12月に体験入学を実施し、学校PRの一層の充実を図る。

#### キ 学校経営・組織体制の改善・充実

- (ア) グランドデザインを生徒の実態に即して、適宜見直す。
- (イ) いじめ・体罰根絶に向け、校内研修を実施する。
- (ウ) 保護者や地域住民との接遇マナーに心がけ、信頼される学校づくりを推進する。
- (エ) 都立学校情報セキュリティ対策基準等を遵守し、個人情報の管理を徹底する。
- (オ) 全日制課程との協働体制を基盤に、教育活動の一層の充実を図る。
- (カ) 都立学校開放事業や公開講座に取り組み、地域とのパートナーシップを築く。
- (キ) 計画的な年休取得を推進し、全教職員のライフ・ワーク・バランスの実現を図る。
- (ク) 学校運営連絡協議会の意見や評価結果を参考に、開かれた学校づくりの充実を図る。
- (ケ) 新たな時代に適切に対応する教員の専門性及び授業力の向上を図る。
- (コ) 教員一人一人の心身の健康保持、職務に対する誇りとやりがいをもって従事できる職場環境を整備し、学校教育の質の維持向上を図る。
- (サ) 特別な支援を必要とする生徒へのきめ細かな対応の統一を図るため、教員間の授業参観を実施し、指導上の困難さを全教職員で共有する。

## (2) 重点目標と方策

### ア 安全教育の推進

安全教育推進校としての実績を生かし、特色ある避難訓練やセーフティ教室を実施する

### イ 学習課題の把握と授業力の向上

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標
生徒の基礎学力を把握と 中途退学者の未然防止	個に応じてきめ細かな指導を実施する。 1・2学年の数学・理科、1学年の電気基礎 は少人数指導として学力の定着を図る。	学力不振による 中途退学者0
	放課後学習・長期休業中の補習・補講を 計画的に実施する。	原級留置者0
	始業前学習の実施による出席率の向上	出席率90%以上

授業改善の組織体制を構築	I C T機器等を活用した授業の実施	各教科で実施
	教師道場や研究員を活用した研究授業や校内研修の実施	年 2 回以上
学校図書館の利用や読書活動を活性化	教科横断的に各教科の授業で図書館を活用し、本に親しむ習慣を身に付ける。	不読率を 5 0 %以下
より良い生き方を主体的に選択する行動力の育成	地域や関係機関と連携し、教科「人間と社会」の指導内容・方法を工夫改善	成果発表会の実施
	外部機関と連携した主権者教育の実施	年 1 回以上

### ウ キャリア教育の充実と免許・資格の取得・検定合格

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標
生徒一人一人の適性に応じた進路希望の実現	生徒一人一人の進路希望を把握する。	進路決定率 1 0 0 %
	○個々の生徒への適切な就労支援 ○社会人として求められるマナーやコミュニケーション能力を高める。	就職決定率 1 0 0 %
	インターンシップへの積極的な参加	1 名以上参加
	ハローワークと連携した進路講話の実施	年 2 回以上
国家資格の合格	電気工事士（第一種、第二種）	3 名以上
	特殊無線技士	3 名以上
	工事担任者（DD3 種、AI3 種等）	3 名以上
	危険物取扱者（丙種、乙種）	各 1 名以上
各種検定	計算技術検定・情報技術検定	1 0 名以上
各種制度の認定	ジュニアマイスター顕彰制度	1 名以上

### エ 規範意識の向上と良好な人間関係構築

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標
生活指導の充実	いじめ・生命の尊重を目的とした全校集会	年 3 回以上
	S N S 使用についての研修会	年 3 回以上
基本的な生活習慣の確立	登校時の校門指導（皆勤生徒の増加）	各クラス 3 人以上
	粘り強い遅刻指導	遅刻者数 1 日平均 1 0 人以下
特別な支援を必要とする生徒の共通理解	スクールカウンセラーと連携した校内研修	年 2 回以上
	グループエンカウンターの実施	年 2 回以上

学校教育相談体制の構築	児童相談所、子供家庭総合センター等の外部機関や家庭と連携し、生活課題のある生徒の問題行動について情報共有を図る。	月 1 回以上
安全教育の推進と中途退学者の未然防止	外部関係機関と連携し、セーフティ教室、薬物乱用防止教室、交通安全教室を行い、非行防止や犯罪被害の防止に取り組む。	中途退学者 0

#### オ 特別活動・部活動の活性化

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標
学校行事の充実	内容を精選し、計画的に実施する。	参加率 90%以上
オリンピック・パラリンピック教育の推進	各ボランティア活動へ積極的に参加させ、自発的な貢献力を育成する。	年 3 回以上
障がい者理解	障がい者スポーツ選手の招聘	年 1 回以上
部活動の活性化	各種競技大会・コンテスト等への積極的な参加を促し、入賞体験等を通じて自己肯定感や達成感を味あわせる。	各部活動 年 2 回以上
	部活動紹介や全国大会壮行会などを実施し、帰属意識を高める。	加入率 75%以上
	生徒対象の熱中症防止研修等を実施する。	重大事故ゼロ

#### カ 生涯にわたる心身の健康の保持増進

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標
学校保健計画に基づき、生徒の心身の関わる健康づくりの推進	薬物乱用防止教室	年 1 回以上
	飲酒・喫煙防止教室	年 1 回以上
	感染症等罹患防止の注意喚起と情報発信	時季応じて実施
	食物アレルギーに関する校内研修を実施し、緊急時の組織体制の確立	年間 2 回以上
	「保健だより」の定期的な発行	年 6 回以上

## キ 専門高校の魅力を発信する広報活動と生徒募集対策

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標
学校の魅力を効果的に発信する広報活動の推進と生徒募集対策の充実	全教員体制で実施する中学校訪問	50校以上
	ホームページからの情報発信	週1回以上
	各科を分かりやすく解説した学校案内作成	7月までに完成
	学校説明会	年5回以上
	授業公開	
	体験入学	
	夏休み親子教室	年1回以上
	中学校の教職員や塾教員を対象にした学校説明会・見学会	年1回以上
「荒工通信」等を発行し、保護者地域へ学校の魅力を適宜発信する。	年6回以上	

## ク 学校課題解決に向けたチーム力の強化

重点目標	方策及び具体的な取組	数値目標
課題解決に向けたチーム力の向上とチーム効力感の情勢	サービス事故の防止や教育課題等を目的とした校内研修	年5回以上
	個人情報管理徹底を目的とした校内研修	年2回以上
	全日課程との協働体制を推進する各種連絡会の実施	随時
図書館環境の維持管理	図書館の利用促進を図る読書週間の設定	不読率50%以下
ライフ・ワーク・バランスの推進と業務の効率化	各分掌主任の連携による会議時間の短縮	月在校60時間超えの教員ゼロ
	閉庁日の設定や計画的な年休取得	